

～「災害から命を守る岐阜県民運動」の展開～

1 概要

- ◆ 令和2年度から5年間を計画期間とする第2期県強靱化計画において、「常態化する想定外」の災害から命を守るため、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る「災害から命を守る岐阜県民運動」を全世代に向けて展開することを決定
- ◆ 行政（県・市町村・国）、県民・防災関係団体、事業者・経済団体等、オール岐阜で構成する「県民会議」を推進母体に、ハザードマップを「知る・学ぶ」、防災訓練に「参加する」など、具体的な行動目標を盛り込んだ「行動計画」を策定
- ◆ 防災への意識を高め、行動に移すきっかけづくりの防災啓発イベント「ぼうさいキャラバン」、防災行動をポイント化し、参加のインセンティブとする「ぼうさいポイント」等により、県民運動への参画を促進

2 初年度（令和2年度）の取組み 1/2

- ◆ 県民運動への参画を呼びかけ、82団体で「県民会議」を立ち上げ
 - ◆ コロナ禍を受け、「withコロナ」に対応した県民運動となるよう、事業内容を見直し、再構築
- (1) LINEを活用した情報発信
- ・ デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展を踏まえ、県民運動の情報発信、事業展開の基盤（プラットフォーム）として「LINE公式アカウント」を開設
 - ・ 公式アカウントで、県総合防災ポータルをはじめ、あらゆる防災情報をまとめて入手可能とするほか、防災イベントや動画配信の情報を配信。緊急時には、警報等発表状況や、避難指示（緊急）等避難情報を送信し、避難を呼びかけ
- (2) ぼうさいキャラバン
- ①災害から命を守る動画コンテンツ制作・YouTube配信
- ・ 自宅で防災について学び、行動に移すきっかけとするため、1本3分程度の防災啓発動画を制作し、YouTubeで広く発信
（例）「コロナ禍の避難について知る・学ぶ」視聴数2,661（R2.10.20現在）
「地震への備えについて学ぼう」視聴数1,191（〃） など、順次公開中（計30本を予定）
- ②参加・学習型展示
- ・ FC岐阜と連携し、長良川競技場で避難所体験コーナー、パネル展を開催。選手出演の防災啓発動画をスタジアムで放映
 - ・ 防災知識を学ぶ啓発用パネルを作成し、広域防災センターで常設展示するほか、県内各圏域の大型商業施設等で巡回展示

2 初年度（令和2年度）の取組み 2/2

(3) ぼうさいポイント

- 紙の応募用紙に防災学習施設や防災講座・訓練会場でスタンプを押印することとしていた当初の「お出かけ型」の制度設計を見直し、非接触型のデジタルポイント制度とするよう見直し（実施は令和3年度から）

◆ コロナ禍で市町村や防災関係団体が主催する防災講座や防災イベントの多くが中止・延期となったことを踏まえ、「県民会議」参加団体には、LINE公式アカウントや動画コンテンツ（YouTube）を活用した行動目標や取組みを設定するよう呼びかけ。その進捗を踏まえ「行動計画」として取りまとめ予定

◆ 小中学生向けに「防災副読本」を制作。教育委員会の「防災教育指導チーム」と連携し、授業で効果的に使用できるよう内容を充実

(4) 防災副読本

- 県内全ての小学校1年生、4年生、中学校1年生へ配付（それぞれ低学年、高学年、中学生用として3年間使用）



【LINE公式アカウント】

- 日頃から、防災イベントや動画情報を配信
- 緊急時には、避難指示（緊急）等の避難情報を配信

- リッチメニューであらゆる防災情報をまとめて入手可能

防災情報		設定
岐阜県総合防災ポータル		災害から命を守る YouTube動画
ハザードマップ	天気警報・注意報	雨量・水位 土砂災害情報
道路情報	避難情報	地震・火山

【YouTube公式アカウント】

災害から命を守る 岐阜県民運動 公式 YouTube チャンネル

県では、県民総ぐるみで自助・共助の産上げを図る「災害から命を守る岐阜県民運動」を展開しています。その取組みの一つとしてYouTubeに公式チャンネルを開設し、災害から命を守る動画コンテンツを配信しています。ぜひご覧ください！

- 動画の内容例
- 避難所における新型コロナウイルス対策
 - ハザードマップの確認
 - 災害・避難カードの作り方
 - 岐阜県総合防災ポータルの使い方
 - 身近な災害リスク 他

